

令和元年第30回定例公安委員会会議録

開催日時 令和元年10月10日(木) 午前11時15分～午後5時15分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時35分

2 出席者

公安委員会 小谷委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 津田警察本部長 伊貝警務部長 谷村首席監察官
長谷高生活安全部長 松岡刑事部長 柳清交通部長
牧田警備部長 竹森警察学校長 妹尾情報通信部長
樋口警務部参事官 西村浜村警察署長

(事務局等～中嶋公安委員会補佐室長、畔田広報官、中田補佐)

3 議題事項

○運転免許取消しに係る審査請求の裁決(警務部)

○警察職員等に対する援助要求(警備部)

(1) 運転免許取消しに係る審査請求の裁決(警務部)

警察本部から、運転免許更新に係る審査請求について、本件請求を棄却する旨の裁決案の説明がなされた。

委員

審理経過及び裁決案について、事前に説明を受けている。このとおり決裁する。

(2) 警察職員等に対する援助要求(警備部)

警察本部

2件の援助要求を受けている。

1件目は、東京都公安委員会より、天皇陛下の御即位に伴う儀式等における警戒警備の万全を期するため援助の要求があった。援助を必要とする場所は、東京都内の天皇陛下の御即位に伴う儀式等の警備に必要な区域である。

2件目は、福井県公安委員会より、原子力関連施設のテロ警戒警備に万全を期するため援助の要求があった。援助を必要とする場所は、福井県内の原子力関連施設の警戒警備に必要な区域である。

委員

このとおり受諾する。天皇陛下の御即位に伴う儀式は、約30年ぶりに行われるもので、出勤する職員にとって過去に経験がないものとなるが、しっかりと任務を完遂していただきたい。

委員

天皇陛下の御即位に伴う儀式が、国民だけでなく海外からも注目を集める中、それぞれの警備に当たる職員は、緊張感を持ち、勤務に当たっていただきたい。

4 報告事項

- 各種大会報告（警務部）
- 警備業の現任指導教育責任者講習の開催（生活安全部）
- 運転免許証自主返納の代理申請の受理状況（交通部）
- 浜村警察署の活動（取組）状況（浜村警察署）

（1）各種大会報告（警務部）

警察本部

9月12日、香川県高松市総合体育館において、令和元年度中国四国管区内警察逮捕術大会が開催された。県警察からは、男子の団体戦、女子個人試合及び女子特別試合に出場した。団体戦では、中国四国管区内9県を3県ずつ（3組リーグ）に分けて、6人戦の予選リーグを行い、各組の各順位同士による決勝リーグを行った。県警察は、予選リーグ3位、決勝リーグ3位であった。

女子個人戦は、警棒対警棒の試合が行われ、県警察から2人が出場するも予選リーグ敗退であった。女子特別試合は、徒手対徒手の試合が行われ、県警察から1人が出場し、準優勝した。

9月14日、鳥取県立武道館において、第40回山陰柔道選手権大会が開催された。この大会は、山陰の選手が出場する体重無差別の個人戦であり、トーナメント方式により山陰チャンピオンを決定する大会である。県警察からは5人が出

場したが、いずれも1回戦敗退であった。

9月20日から22日までの3日間、広島県内の「つつがライフル射撃場」において、2019年度全日本ライフル射撃競技選手権大会が開催された。県警察からは、拳銃射撃特別訓練員2人が出場した。競技は、5分間正対している標的に5発射撃する「精密射撃」と、7秒おきに3秒正対する標的に、1発ずつ合計5発射撃する「速射」の合計点により順位が決定され、県警察の最高は、出場者70人中18位であった。

委員

日頃から勤務と訓練に励んでいると思う。若い選手もおり、次の世代に向けて頑張る先輩の姿を見せてもらいたい。

委員

大規模県とは異なり、仕事や訓練をマルチにこなすのが鳥取県警だと思う。大変な面もあるが、少しでも上位を目指し、引き続き頑張っていたきたい。

(2) 警備業の現任指導教育責任者講習の開催（生活安全部）

警察本部

現任指導教育責任者講習とは、公安委員会が3年ごとに警備業の各営業所に選任されている警備員指導教育責任者に対して、警備員の指導及び教育に関する法定講習である。

本年は、1号警備（施設警備、空港保安警備）の講習を10月17日、2号警備（交通誘導警備、雑踏警備）の講習を11月26日に、いずれも鳥取県庁において開催する。3号警備（貴重品運搬警備、核燃料物質等危険物運搬警備）及び4号警備（身辺警護）は来年度開催予定である。

講習は本年度から委託事業となっており、一般社団法人鳥取県警備業協会が行う。主な講習内容は、「警備業法その他警備業務の実施の適正を確保するため必要な最新の法令に関すること」、「事件、事故等の発生状況その他最新の治安情勢に関すること」、「警備業務を実施するために使用する最新の各種資機材の機能、使用方法及び管理方法に関すること」及び「警備業務に係る事故の事例を踏まえた事故の防止に関すること」である。

委員

先日、伊丹空港の手荷物検査の際に、危険物が持ち込まれたかもしれないという事案が報道されていたが、警備員に対する指導は大切である。

委員

以前と比べ、警備会社のニーズは高まっていると思う。適切な指導を行ってい

ただきたい。

(3) 運転免許証自主返納の代理申請の受理状況（交通部）

警察本部

運転免許証自主返納の代理申請は都道府県によって運用が異なるが、当県警では平成30年9月21日から開始し、ホームページにもチラシを掲載している。

代理申請は、運転免許証の自主返納を希望する者が、病気等の事情で免許センターに赴くことが困難な場合に、代理人による自主返納申請を可能にすることにより、申請者の一層の利便性の向上を図ることを目的としている。

代理人は、配偶者を含む三親等内の親族や介護施設等の管理人等で、申請者から委任を受けた者と規定しており、受理は、東・中・西部の運転免許センターで行っている。

実施開始から約1年経過した令和元年8月末現在の代理申請受理人数は70人であり、全体の運転免許証自主返納のうち、約3パーセントであった。代理人となったのは子供が最も多かった。また、最も多い申請理由は、歩行困難であった。

委員

高齢者の割合は、ますます増加することが予想される。歩行困難であれば遠方から運転免許センターに赴くことも難しく、交通の便の問題等もある。この制度が、より周知されれば増加していくと思うので、引き続き、適切な対応を行っていただきたい。

(4) 浜村警察署の活動（取組）状況（浜村警察署）

浜村警察署

当署では、全国的に社会的反響の大きい事件・事故等が発生したことを踏まえ、体感治安の維持向上取組として、子供の見守り活動の強化、継続的な交通監視活動等及びOBポリスの活用を行っている。

具体的には、子供の見守り活動の強化では、通学路の危険箇所を抽出し、登下校時の警戒活動を実施している。また、夏休み期間中は、各地区のラジオ体操に参加し、見守り活動を行った。住民からは、「早朝から警察官が見守りをしてくれることで安心する。」、「親しみを感じる。」などの反響があった。

継続的な交通監視活動等については、鳥取西道路の開通により交通量が変化し、管内の国道9号における交通事故件数は約8割減少したものの、交通渋滞がなくなったことにより、スピード超過による重大交通事故の発生が懸念されることから、通勤時間帯に特化し、ショットガン方式等による工夫を凝らした交通監視活動を実施している。また、「HAMMA警タイムス」というミニ広報紙を発行して

おり、小学校区の交通事故発生状況等を掲載するなど、地域に密着した内容にしている。

○Bポリスの活用については、管内に居住する退職された警察職員宅に各種広報資料を送付するとともに、自宅を訪問し、警察行政活動に対しての意見等をいただいている。

そのほか、事案対処訓練として、非常招集訓練、警察署機能移転訓練及び装備資機材の習熟訓練を実施している。また、三位一体改革として、働き方改革、女性活躍及びワークライフバランスの取組を行っており、特に、男性職員の育児休業取得を推進している。

委員

小規模署ならではの、より地域に密着した良い取組をされている。地域の交通事故発生状況は、住民の求めている情報だと思う。

委員

以前、浜村警察署に伺ったが、地域と顔の見える活動をされており、身近に感じる警察署だと思った。地域的に農耕車もよく見掛けると思うが、農耕車による交通事故防止について取組は行っているか。

浜村警察署

講習等の機会に合わせ、注意喚起を行っている。

委員

引き続き、地域住民のための活動をよろしく願います。

5 その他

○特殊詐欺の犯行ツール対策（刑事部）

○ひき逃げ事件の発生（交通部）

○「G20保健大臣会合」警護警備における情報通信職員の派遣（情報通信部）

（1）特殊詐欺の犯行ツール対策（刑事部）

警察本部

9月27日から特殊詐欺の犯行ツール対策として、「特殊詐欺に利用された固定電話番号に係る利用停止要請等」の枠組みが全国で運用開始になった。

未遂を含めた特殊詐欺の犯行に利用された固定電話番号の情報を全国警察で情報共有することにより、犯行に利用された固定電話番号を使用できなくするなど、固定電話番号の特殊詐欺への利用を減少させる効果が期待される。

(2) ひき逃げ事件の発生 (交通部)

警察本部

10月8日午前4時45分頃、琴浦大山警察署管内において、自転車で走行中のネパール国籍の男性が、トラックに跳ねられ傷害を負うも、トラックが逃走したひき逃げ事件が発生した。

所要の捜査の結果、トラックを運転していた男性を本件被疑者として通常逮捕した。

(3) 「G20保健大臣会合」警護警備における情報通信職員の派遣 (情報通信部)

警察本部

10月19日、20日に岡山市内で開催されるG20保健大臣会合の警護警備に伴い、10月15日から、岡山県情報通信部へ職員を派遣する。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 事前説明

- ・公安委員会宛ての苦情に対する回答 (案)
- ・警察職員等に対する援助要求
- ・鳥取県警察本部施設中長期保全計画の策定

3 報告事項

- ・審査請求関係
- ・全国公安委員会連絡会議関係
- ・中国四国管区内公安委員会連絡会議関係
- ・指定自動車教習所随時検査結果

4 決裁

- ・ 運転免許取消しに係る審査請求の裁決
- ・ 警察職員等に対する援助要求

5 警察本部との昼食会

警察本部との昼食会に、本部長、警務部長、情報通信部長の出席を求め、意見交換を行った。

6 視察

- ・ 交通管制センター
- ・ 無線中継所

7 公安委員会委員間の事前検討・協議等

8 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。